

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

28年10月31日

和泉市長 あて

団体名 レインボー・シード
代表者名 松本丞美
所在地 和泉市黒石町
電話 0725-

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 バリアフリーイベントほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シブリングキッズ会
2. 事業の概要
 - ・月に1回程度障がい児保護者と支援者との「ほほえみ座談会」開催
 - ・年に1回バリアフリーイベント「ほほえみフェスタ」開催
 - ・障がい児兄弟姉妹の交流会「シブリングキッズ会」
3. 事業費総額 257,400 円
(うち、対象経費 178,400 円)
4. 交付希望額 89,200 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(○ はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	レインボー・シード		
団体名	レインボー・シード		
団体の目的	障がい児の家族だけでなく、健常児家族、支援者なども一緒に活動をし、お互いに遠慮のない関係ができる場所づくりを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1113 和泉市黒石町（ ）		
	【専用事務所・○ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
電話	0725（ ）	FAX	同左（ ）
フリガナ	マツモト ッグミ		
代表者氏名	松本 丞美		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ マツモト ッグミ		電話 3
	松本 丞美		FAX 072
設立年月	24年 9月	主な活動地域	和泉市・岸和田市・堺市
会報等の発行	有（ 回発行）・○無	会員数	人
メールアドレス			
ホームページ			
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児保護者と支援者との座談会 ・バリアフリーイベント「ほほえみフェスタ」開催 ・障がい児兄弟姉妹の交流会・支援 		
主な活動の実績	平成25年2月10日 第1回ほほえみフェスタ開催（大阪府中央区） 平成25年8月25日 第2回ほほえみフェスタ開催（和泉市） 平成26年7月6日 最強家族計画開催（大阪府北区） 平成26年11月3日 第3回ほほえみフェスタ開催（堺市） 平成27年5月24日 第4回ほほえみフェスタ開催（和泉市） 平成27年12月12日 第5回ほほえみフェスタ開催（和泉市） 平成28年5月22日 第6回ほほえみフェスタ開催（和泉市） 月に1回程度 ほほえみ座談会実施 障がい児兄弟姉妹の交流会「シプリングキッズ会」実施		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	27年度	ちよいず	74,634円
28年度	ちよいず	96,802円	

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>バリアフリーイベントほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シプリングキッズ会</p>
<p>事業の必要性 *別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいをもつ我が子とお出かけをする時、ついつい周りに遠慮して行かなくなってしまいがち。それを少しでもイベント側が理解をして、大丈夫と言ってくれたら、人目を気にせず行きやすくなる。また、健常の子供さんとも関わってほしい。関わるきっかけとなつてほしい、そんなお互いに遠慮のない関係ができるイベント場所が必要なひとがいるのではないか。 ・座談会は障がい児家族だけの集まりではなく、ボランティアや、教育関係者の人など支援者と一緒に情報交換や悩みを話しあうことで、支援者と保護者のお互い普段聞けない事などを話し合える場所がほしい。 ・障がい児兄弟姉妹は親にも友達にも話せない悩みがあります。一人で抱えてしまわないように、きょうだい児同士で交流することで、悩みを話せたり、前向きに将来を語りあえる仲間作りを目的とした会をつくる。 <p>（申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）</p> <p>障がい、健常、関係なしで参加してもらいたい。 お互いに遠慮のないバリアフリーの場所づくりを目指す。親も兄弟姉妹もひとりて抱え込まないで、なんでも話しあえる会を作る。</p>
<p>事業内容 *別紙添付可</p>	<p>（主な対象者）</p> <p>子育て世代の家族・発達障がい児を育てる家族・シプリングキッズ会は障がい児兄弟姉妹で小学生以上20歳未満対象</p> <p>参加予定者数500人</p> <p>（事業実施期間）</p> <p>座談会は毎月程度。冬にバリアフリーイベントほほえみフェスタ開催予定。不定期きょうだい児交流会予定。</p> <p>（事業実施場所）</p> <p>和泉シティプラザなど</p> <p>（問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）</p> <p>イベント開催に関しては出展者募集の際に発達障がいを持つ子供さんも来場されるということを理解していただいた上で出展を受け付けている。保育ルームも障がい、健常の壁をなくして、保育士など知識のある人に一部スタッフで入ってもらい一緒に空間で遊べるようにしている。</p> <p>シプリングキッズ会に関しては</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもは、「話し合いなさい」と言われて話し合うことは苦手です。特に話し始めることが苦手です。2〜3ヶ月に一回仲間が集まり、何かを一緒に作る、ハイキングに行くなど、遊びや仕事を入れると自然に話し合えると思います。話し合いのほとんどはいつでもいい話かも知れません。でもそれが大事なんです。その中で、ここでは何を言っても大丈夫なんだという実感がもてて初めて大事なことを話し合います。 年齢が高い仲間が集まった時は、最初から「大事な話」を行う。 ○基本的に危険な事以外は、大人は介入しません。仲間同士で話し合い、活動内容をすすめていきます。 <p>また、子どもたちの話し合いの結果を親に環流しようとしたり、介入しすぎない。見守りをします。 自分達で考え、楽しい時間を持ってくれることを目標にします。</p>

事業スケジュール	時期 (月)	内容
	4月	座談会実施
	5月	座談会
	6月	座談会・シブリングキッズ交流会開催（子供同士で次回打ち合わせもする）
	7月	ほほえみフェスタ会議（出展者募集開始）
	8月	シブリングキッズ交流会実施
	9月	座談会
	10月	座談会
	11月	ほほえみフェスタ会議 座談会 シブリングキッズ交流会
	12月	ほほえみフェスタ開催
	30年1月	座談会 シブリングキッズ交流会
	2月	座談会
	3月	座談会

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： バリアフリーイベントほほえみフェスタ・ほほえみ座談会・シブリングキッズ会

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	89,200	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	140,000	イベント協力金・参加料
自主財源	28,200	
合 計	257,400	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
賃借料	87,100	会場費（イベント 57,600・シブリング会会場 4,000×4、座談会会場 1500×9）
印刷製本費	40,300	イベントチラシ（1万3千部 35,000）ポスター（4,300）コピー1000、
報償費	30,000	座談会講師謝礼 5,000×6人
消耗品費	5,000	事務用品類、救急セット
役務費	16,000	保険 6,000・郵便料 10,000
その他（対象外）	64,000	スタッフ謝礼 4,000×16人
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)	15,000	保育ルームおもちゃ、イベント装飾
合 計	257,400	
対象経費	178,400	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円を算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（○ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

- ・ 申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。
- 事業内容の縮小する。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。